

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

		受付	番号 7
			令和 元年 11月28日
			午前・午後 9時40分
議会名	令和 元年 第 4 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 11番 本郷 淳一		
答弁を求める者 (選択してください)		市長 ・副市長・教育長・ 担当部局長	
大項目（質問項目） 中項目（質問細目）		小項目（具体的な質問内容）	
1. 台風19号の被害について			
(1) 台風19号の被害状況について		①台風19号による被害状況 台風19号により、本市は甚大な被害を受けた。河川をはじめ市内の被害の全容について伺いたい。	
(2) 河川被害の原因と対策について		①秋山川の決壊及び越水等の原因 台風19号の豪雨により、秋山川において決壊や越水等が発生し甚大な被害を受けた。その原因をどのように捉えているか伺いたい。 ②秋山川における過去の川底ざらい 秋山川における過去の川底ざらいにおいて、さらった砂利を搬出せず留め置いたことが、越水等の原因の一つとの話を聞くが、当局はこの現状をどう捉えているか。また、その対処策を伺いたい。	

(3) 情報周知の徹底について	③今後の市の対応 被災者は、二度と河川の決壊や越水等が起こらないようにとの切実な思いを訴えている。秋山川流域においては、多くの被災者から川底ざらいや堤防を高く強固にしてほしいとの要望を聴いており、川底ざらいや堤防の改良復旧が大変重要であるとする。今後、本市としてどのような対応を講じていく考えか伺いたい。 ①迅速な意思決定と方向性の周知 被災者は、甚大な被害にどうして良いか途方にくれており、災害ゴミや土砂の片づけ、床下の消毒、被災者への支援など、具体的な方法等は後でも良いが、その方向性だけでもいち早く周知をしてほしいと望んでいる。しかし、「市の対応が遅い」、「市の情報がほとんど入ってこない」等の声を多く聴いているが、当局の見解を伺いたい。 ②情報の発信強化 被災者の、「防災行政無線が聞き取りにくい」、「情報が入ってこない」などの不安と不満を多く聴いている。防災行政無線テレホンサービスの周知や防災気象情報メールの登録、広報車等による情報発信の強化をさらに図るべきと考えるが、当局の見解を伺いたい。 ③防災ラジオ又は地域FM放送の実施 市民にとって、リアルタイムな情報は、命を守るうえで大変重要であり不可欠である。小山市のFM「おーラジ」は、10月12日～13日には夜通しで、市災害本部と連携し河川の水位や交通などの情報を発信し続け、災害情報の周知に力を発揮したとの報道があった。本市も防災ラジオ又は地域FM放送を実施すべきと考えるが、当局の見解を伺いたい。
------------------------	--

(4) 避難所関連について	①避難所の見直し 西中学校は、ハザードマップの浸水エリアにあるにも関わらず避難所に指定している。また、他の避難所へ二次避難をせざるをえなかった所もあった。避難所の適正について根本的に見直しをするべきである。また、民間施設も協力していただき避難所として指定すべきと考えるが、当局の見解を伺いたい。 ②避難所への情報伝達と指示の徹底 西中学校では、体育館と校舎の渡り廊下が浸水したため、体育館から校舎への避難を開始した。その間、秋山川の決壊や越水の情報がまったく入って来なかった。一步間違えれば大惨事になっていた可能性がある。今後、災害対策本部からの情報伝達と指示の徹底を図るべきと考えるが、当局の考えを伺いたい。 ③水没した車両について 西中学校では、校庭に駐車した車両約100台が水没したが、この現状と対応をどう考えているのか、当局の考えを伺いたい。 ④備蓄体制のありかた 西中学校では、300名を超える避難者がいるにもかかわらず、支援物資が25名分しか届かなかった。今後、避難所自体の備蓄数の増加や配送時期の前倒しなどの改善を図り、避難者へ支援物資が行き渡るように備蓄体制のありかたを改善すべきと考えるが、当局の考えを伺いたい。 ⑤防災倉庫の鍵の管理 閑馬町のJA愛村支店避難所では、すぐ近くに田沼西運動場防災倉庫があるにも関わらず、鍵の保管体制に問題があり、避難の初動において、支援物資を取り出すことができなかった。今後、地元町会へも合い鍵を渡すなどの改善を図るべきと考えるが、当局の考えを伺いたい。
----------------------	--

(5) 被災者への補助制度について	⑥今後の改善計画とスケジュール 避難所に関しては、多岐にわたり改善すべき点が多々あると思うが、今後の改善計画とスケジュールを伺いたい。 ①補助制度の概要 台風19号は激甚災害に指定され、被災者は、一日も早く元の生活に戻りたいと必死で再建に取り組んでいる。しかし、資金面などで大きな不安を抱いており、被災者に寄り添った支援の構築が大変重要だと考える。そこで、市民・事業者・農業者等への補助制度の概要を伺いたい。 ②住宅の利子補給制度の創設 金融機関の融資制度を利用する場合、東日本大震災の時は、建物の新築及び修繕に対し、利子補給を実施したようだが、今回はどのように考えているのか伺いたい。 ③動産等の利子補給制度の創設 小山市では住宅の他に、自動車、家具、家庭用電化製品、車庫、住宅に付属する門等の動産等にも利子補給を実施しており、本市も実施すべきと考えるが、当局の考えを伺いたい。 ④被災者生活支援ハンドブック 被災者は、「今何をどうしたら良いか分からない」、「どのような支援があるのか分からない」など大変戸惑っている。この度「台風19号被災者生活支援ハンドブック」が作成され、その効果が大いに期待されている。その概要と配布方法を伺いたい。 (6) 復旧・復興について ①復興推進室の具体的役割 台風19号の被災地復興を一元的に進めるため、復興推進室を新設したとのことだが、その具体的役割について伺いたい。
--------------------------	--

	②復旧・復興計画の概要 復旧・復興の具体的計画はこれから策定することと思うが、いつまでに、どこが、どのような事を実施するのか、その概要を伺いたい。
--	---